第58回定期総会　# 兵庫会会長挨拶

Keep on Trying with Hyogokai!

挑戦し続ける兵庫会

日本公認会計士協会兵庫会 会長　坂井（さかい）　浩史（ひろふみ）

## ご挨拶

平素より兵庫会の会務運営に対してご理解、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

私にとりましては、第58回の定期総会が任期３年の最後の総会となります。

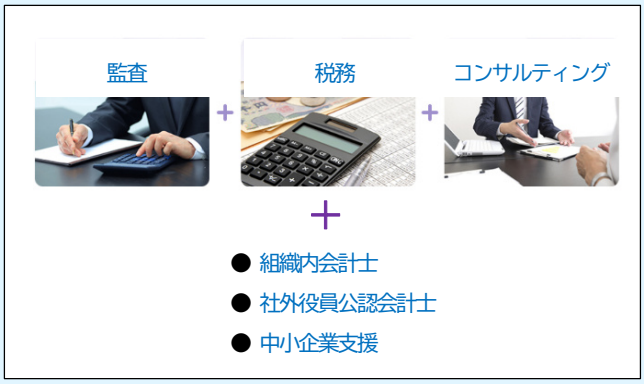
兵庫会会長に就任してから早いもので３年が経過いたしました。就任当初は、新型コロナウィルス感染症の影響が懸念されましたが、任期途中において５類感染症に移行され、会務運営上の制約は概ね無くなりましたので、兵庫会では、任期３年を通じて、「公認会計士業界の多様性への対応」を軸に活発な事業展開を行ってまいりました。

## 公認会計士業界の多様性についての認識

私が、兵庫会会長として意識してまいりました、公認会計士業界の多様性は、以下の三点であります。

一点目は、「職業種類の多様性」であります。従来、公認会計士の職業種類は、監査、税務、コンサルティングと言われていましたが、組織内公認会計士、社外役員公認会計士として活躍する会員が増えております。

また、新型コロナウィルス感染症拡大で苦境に陥った事業者向け実質無利子・無担保融資（いわゆるゼロゼロ融資）の返済が本格化しましたが、業績が改善せず、破綻に追い込まれる中小企業が増加しております。地域経済の活性化のために、公認会計士の知見を活かした事業再生コンサルティングが注目されています。




二点目は、「監査対象や保証対象の多様性」であります。非営利分野では、公益法人、社会福祉法人、医療法人等への会計監査の導入が制度化され、また、地方公共団体の包括外部監査制度も地域に根付いてまいりました。トピックとしては、監査法人等が気候変動等を含むサステナビリティ（持続可能性）情報に対する保証業務の担い手となることが検討されております。

三点目は、「女性公認会計士の活躍」であります。兵庫会では2025年５月31日現在186名（17.9%）の女性会員・準会員が活躍されています。

日本公認会計士協会では、2030年度までに公認会計士試験合格者の女性比率を30%へ上昇させること、2048年度（公認会計士制度100周年）までに会員・準会員の女性比率を30%へ上昇させることをＫＰＩとしております。

日本公認会計士協会　会員・準会員の女性比率

（2025年５月末現在）

| 会員・準会員　合計 | | | |
|---|---|---|---|
| 区分 | 総数 | 女性 | 比率 |
| 全　国 | 44,590名 | 7,571名 | 16.9% |
| 兵庫会 | 1,040名 | 186名 | 17.9% |

女性公認会計士キャリアマップについてはこちらをご覧ください。

## 兵庫会の重点施策

私が兵庫会会長として、多様性を意識して掲げた重点施策五点についての2024年度を含む任期３年の実績を述べさせていただきます。

一点目は、「組織内公認会計士、社外役員公認会計士の情報交換・懇親の機会の確保」であります。

協会本部との連携を深めながら、2022年度より事業部内に新設した組織内会計士専門委員会及び社外役員会計士専門委員会を通じて、組織内公認会計士及び社外役員公認会計士の把握に努め、さらなる情報交換・懇親の機会を提供いたしました。また、関西地区三会、中日本五会による交流の機会を提供し、参加される会員の皆様の専門知識の向上、業務支援につなげてまいりました。

2025年２月１日(土)～２日（日）
中日本五会
組織内会計士向け合宿研修
（ホテルエコノ福井駅前）

2025年２月７日（金）
関西地区三会
社外役員会計士委員会
（神戸三宮東急ＲＥＩ
ホテル）

二点目は、「ダイバーシティの推進」であります。

協会本部との連携を深めながら、2022年度より新設したダイバーシティ推進委員会のオリジナル企画、関西地区三会との交流会等を通じて、多様な価値観を有する会員がより一層活躍できるための機会づくりに努めました。

2024年10月27日（日）女性会計士活躍の会（神戸北野ホテル）

三点目は、「C.P.A.HYOGO NEWS の紙面充実による発信力の強化」であります。

兵庫会会員・準会員へ送付するC.P.A.HYOGO NEWSの紙面充実は、多様性対応の究極であると思います。

2022年度より掲載をスタートさせた監査法人所属の新進気鋭会員インタビュー記事「この人に聞く」、事業者団体や士業団体を訪問したインタビュー記事「おじゃまします兵庫会です！」に加え、公認会計士業界に関する最新情報トピックスや歴史、ダイバーシティについての知見を深めるため大学教授インタビュー「大学教授に聞く」、福寿会（対象：70歳以上）会員インタビュー「私が歩んだ道」、女性会員インタビュー「活躍する女性会計士たち」を掲載することにより、兵庫会の発信力を強化いたしました。

四点目は、「非営利法人に関する専門情報の収集、発信」であります。

2022年度より非営利法人委員会内に新設した社会福祉法人小委員会、医療法人小委員会、公益法人小委員会を中心として、他地域会及び協会本部との連携強化を図り、会員への専門情報の収集、発信に努めました。

恒例となった「社会福祉法人会計シンポジウム」では、他の地域会に先駆けて、全国社会福祉法人経営者協議会が開発した経営改善ツール「経営協ドック」の活用をメインテーマに講演会、グループディスカッション、マッチングイベントを実施いたしました。

また、新たな事業として、兵庫県社会福祉法人経営者協議会と協定を結び、2024年度より経営改善を図りたい法人に対して、社会福祉法人小委員会メンバーを紹介すべく経営協ドックの勉強会を開始いたしました。

五点目は、「中小企業支援」であります。

事業再生コンサルティングの経験者を中心とするチーム編成を行い、兵庫県中小企業活性化協議会、兵庫県信用保証協会からの推薦依頼に適切かつ柔軟に対応できるよう、準備を進めました。

## その他の活動

2024年４月１日　兵庫会ウエブサイトリニューアル！！

2024年７月27日（土）関西地区三会共催「夏祭り2024」

2024年９月９日（月）C.P.A.HYOGO NEWS会員インタビュー

2024年10月５日（土）公認会計士制度説明会（灘中・灘高等学校）

2024年11月17日（日）秋季親睦ゴルフ大会・コンペ後の会食

2024年12月３日（火）役員忘年会

2024年12月14日（土）関西地区三会共催　Music Festival

2025年１月16日（木）地域会会長会議 懇親会

## 最後になりましたが

冒頭の標語、及び、上述のとおり、兵庫会役員、事務局一同、会員サービスの充実に向けて全力で会務運営に取り組み、新しい施策にもトライしてまいりました。しかし、公認会計士業界の多様性の進展は目覚ましく、会員サービスの充実に向けて取り組むべき課題も多く残りました。６月26日（木）の定期総会終結後は、村上純二新会長のもとで、新しい視点にたち、事業の取捨選択の上、会員サービスをさらに充実させていただけるものと確信しております。村上新会長に熱いエールを送りたいと思います。

最後になりますが、会員・準会員の皆様をはじめ、ご支援ご協力をいただきました関係者の皆様には厚く御礼申し上げますとともに、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げまして、挨拶とさせていただきます。